キリスト教委員会のHP(http://rakuno-ce.org)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

宗教を謳う日本では、キリスト教の影響を軽視する向きもありますが、歴史、文化、社会の重要なシステムとしてキリスト教は国際社会のみならず、日本にも大きな影響を及ぼしています。アメリカやロシアを筆頭に、キリスト教の正確な理解がなくては国際情勢の正確な把握は困難です。現在のキリスト教がイエスを正確に継いでいるのかは甚だ疑問ですが、キリスト教が世界に多大な影響を及ぼしている現実は否定できません。しかし、そのキリスト教の原風景は草原でイエスと一緒に座ることにあったのです。

2025年8月21日に本学が担当校になりキリスト教学校教育同盟大学部会研究集会が開催されました。北星学園理事長の古川敬康先生と沖縄キリスト教学院大学学長の金永秀先生にご講演いただき、戻ってから本学の参加者で振り返りの集まりをも持ちました。両校に共通するのは平和を建学の精神と教育の中心に位置づけていることにあります。2013年に前宗教主任の藤井創先生と一緒に沖縄平和ツアーで学生を引率したときに金先生をご紹介いただき、それから親しくお交わりをいただいているのですが、沖縄キリスト教学院の原風景が沖縄戦の焼け野原であったことを改めて実感し、建学の精神を平和に置く真剣さんがよりいっそう迫ってきました。

《酪農義塾農場(1935 年)》

酪農学園の原風景は1933年に設立された北海道酪農義塾です。施設や設備は整っていませんが、希望や熱意に溢れ、そして何より聖書とキリスト教に基づく「三愛主義」が活力をもって息づいていました。現在の本学は施設や設備は整っていますが、それゆえにこそ原風景に溢れている希望や熱意と三愛主義を真に息づかせていくことが必要です。

【聖歌隊で一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。歌ってみたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。お待ちしています。

【次回の大学礼拝】2025年10月7日（火）10時40分

聖書：マタイによる福音書 7 章 3–5 節

奨励：「これまでの様々な気づきを振り返って思うこと」

髙島英也（酪農学園理事長）

【前回の大学礼拝】2025 年 9 月 23 日（火）

学生：26 名　教職員ほか：11 名　合計：37 名

【大学礼拝週報】2025 年度 第 17 号（後学期第 2 号）

2025 年 9 月 30 日（火）午前 10 時 40 分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《礼 拝 順 序》

司　式　小林昭博（宗　教　主　任）
奏　楽　佐藤理恵（野 幌 教 会 会 員）
讃美指導　相原晴伴（循環農学類教授）

前　奏	愛するイエスよ（ヴァルター作曲）
讃 美 歌	讃美歌２１　403 番（聞けよ、愛と真理の）
聖　書	ヨハネによる福音書 6 章 10 節
さ ん び	酪農学園大学聖歌隊
奨　励	「原風景――キリスト教と酪農学園と」
祈　り	小林昭博（宗教主任）
讃 美 歌	酪農讃歌（黒土よ）
報　告	
後　奏	イエス･キリストをほめたたえよ（パッヘルベル作曲）

【本日の聖書】ヨハネによる福音書 6 章 10 節

10 イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。そこには草がたくさん生えていた。男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。

【奨励】「原風景――キリスト教と酪農学園と」

本日の聖書は「５千人の供食」の物語の続きです。イエスの思いを汲み取れず、少年の思いを無碍にする弟子たちに業を煮やしたイエスが、従ってきた人たちを座らせる場面です。ここでは５千人もの人々が草原に座っています。食べるものもなく、屋根もない、ただの草原です。これがイエスの活動開始時の原風景です。その後２千年を経て、キリスト教は世界宗教として在り続けています。イエスが天で驚いているかもしれません。無